

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公開番号】特開 2017-142047 (P2017-142047A)

【公開日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報 2017-031

【出願番号】特願 2016-242848 (P2016-242848)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/06 (2006.01)

E 0 4 B 1/76 (2006.01)

E 0 4 B 1/94 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/06 3 0 3 W

E 0 4 B 1/76 5 0 0 F

E 0 4 B 1/94 L

F 2 5 D 23/06 3 0 3 X

F 2 5 D 23/06 3 0 3 N

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 13 日 (2019.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記冷凍・冷蔵倉庫の基礎の上に床断熱材、次いで最下階の床スラブが配置され、前記内壁材が前記床断熱材及び前記最下階の床スラブの周縁を取り囲んで、前記基礎上に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 1 2 のいずれか一項に記載の冷蔵・冷蔵倉庫の外壁構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 8】

前記冷凍・冷蔵倉庫の基礎の上に床断熱材、次いで最下階の床スラブが配置され、前記内壁材が前記床断熱材及び前記最下階の床スラブの周縁を取り囲んで、前記基礎上に配置されていることを特徴とする請求項 1 4 乃至 1 7 のいずれか 1 項に記載の冷蔵・冷蔵倉庫の外壁構造。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

さらに、本例では、外部断熱層 4 1 で覆われた領域内においてロックウール層 1 5 を上下に分断する防湿部材 4 2 を配置することにより、外部断熱層 4 1 で覆われていない領域からロックウール層 1 5 内に侵入した湿気が、床スラブ 4 近傍にまで侵入して結露するの

を防止することができる。防湿部材 4 2 としては、金属製、合成樹脂製のいずれであってもよく、通気性がなく、ロックウール層 1 5 を上下に分断できる水平方向に長尺の部材であれば、形状は特に限定されないが、図 5 に示すように、カバー片 4 2 a と、該カバー片 4 2 a と平行な取り付け片 4 2 b と、該カバー片 4 2 a と取り付け片 4 2 b とを接続する接続片 4 2 c とからなる断面が略 Z 字型の部材が好ましい。係る防湿部材 4 2 は、断熱パネル 1 2 に不図示のビス或いは接着剤等により取り付けられ、カバー片 4 2 a がロックウール層 1 5 表面を覆い、接続片 4 2 c がロックウール層 1 5 を分断する。尚、本例では、接続片 4 2 c を中心に取り付け片 4 2 b を床スラブ 4 側に向けて防湿部材 4 2 を配置しているが、本発明ではこれに限定されない。逆に、カバー片 4 2 a を床スラブ 4 側に向けて配置しても良いが、その場合には、床スラブ 4 を挟んで上下に配置する防湿部材 4 2、4 2 のカバー片 4 2 a、4 2 a の端部同士が突き当たらないようにする必要がある。床スラブ 4 を挟んで上下に配置する防湿部材 4 2、4 2 のカバー片 4 2 a、4 2 a の端部同士が突き当たった場合には、該カバー片 4 2 a、4 2 a が床スラブ 4 の端部を屋外側から完全に覆うことになり、該床スラブ 4 の端部をポリウレタンフォームで覆うことができなくなる。よって、この場合には、上下の防湿部材 4 2、4 2 のカバー片 4 2 a、4 2 a の端部が間隙を介して位置するように該防湿部材 4 2、4 2 を上下で離して断熱パネル 1 2、1 2 に取り付ける。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

また、本発明においても、第 1 の外壁構造と同様に、図 1 4、図 1 5 に示すように、床スラブ 4 の上方に取り付けられた耐火パネル 6 2 の下部から、床スラブ 4 の下方に取り付けられた耐火パネル 6 2 の上部にわたって連続し、床スラブ 4 の端部と、ブラケット 2 2 の少なくとも床スラブ 4 の端部への取り付け側と、耐火パネル 6 2 の金属板 6 3 の一部と、を覆うポリウレタンフォームからなる外部断熱層 4 1 を設けることで、コンクリート製の床スラブ 4 の端部及びブラケット 2 2 の周辺の断熱性を高めることが好ましい。尚、図 1 5 は、本例の外壁構造の水平方向の断面図であり、図 1 4 の L-L' 断面図であり、図 1 4 は図 1 5 の M-M' 切断部の端面図である。

【手続補正 5】

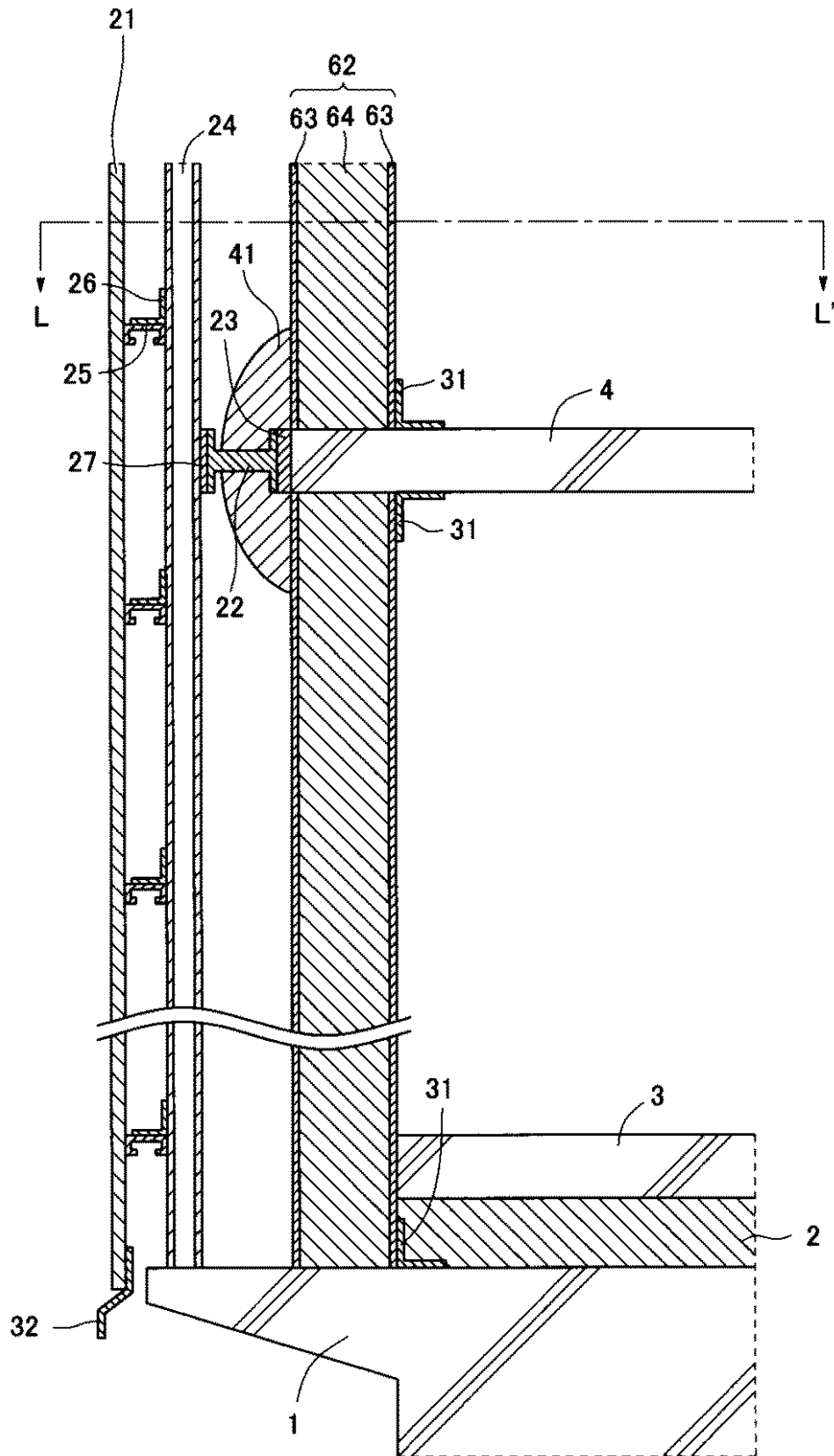
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 4】



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 6】

